

令和3年7月16日

該当学年保護者の皆様へ

愛知県立半田特別支援学校長

修学旅行の実施について

間もなく東海地方も梅雨明けを迎えます。日本列島の各地で、線状降水帯のもたらす豪雨や土砂災害により、甚大な被害がもたらされました。被災された地域の日も早い復旧、復興と、被災された方々に心安らかな日々が訪れることを心よりお祈りします。

さて、新型コロナウイルス感染症の収束については、先行きがまだまだ不透明であります。東京オリンピックを目前にして、東京では第4波以上の感染爆発が起こっています。新型コロナウイルスも従来のものから変異した、より感染力の強いデルタ株に置き換わりつつあり、10代、20代、30代の若年層の感染割合も増加しています。

愛知県においても、緊急事態宣言からまん延防止等重点措置を経て、「愛知県厳重警戒措置」が適用されています。いったん「レベル1」相当に減少した感染者数も、7月15日現在74人と増加傾向に転じています。また、感染拡大防止の切り札と言われているワクチン接種も、需要に対して供給が追いつかず、接種予約を停止する自治体も出ています。

このような状況の中、「各部の修学旅行をどうするか」を考える時期がきました。各部とも10月の修学旅行の実施に向けて、夏季休業中に学年職員で下見を行い、9月から「修学旅行」の学習を始めます。下見や学習準備の都合上、目的地をどこにするのかをこの時期に決める必要があります。目的地の選定には「泊り」ができるかどうかが決め手となります。

学年会、部会、運営委員会、管理職会等で協議を重ねてきました。その結果、現時点において新型コロナウイルス感染の終息が見込まれないことを踏まえ、宿泊に伴う感染リスクを避けることが難しいという判断に至りました。特に就寝時、マスクを外した状態で長時間同じ空間で過ごすことが最大の心配です。

従いまして、今年度の各部修学旅行は「1泊2日」を取りやめ、目的地を県内もしくは隣接県として「0泊2日」で実施することといたします。（新型コロナウイルス感染状況の悪化により、県をまたぐ移動が制限された場合は、県内のみとなります。）子供たちにとって、各部最終学年の「修学旅行」は、かけがえのない行事であると思います。できる限り充実したものとなるよう計画します。昨年の日帰り1日の修学旅行は、1日にしては内容が盛りだくさんで、やや慌ただしさを感じました。昨年度の反省を生かし、今年度は、2日をかけてゆとりある取組を考えたいと思います。

詳細が決まりましたら、部ごとにお知らせいたします。何とぞ御理解をよろしくお願いします。